町を知ろう！
【自然】

山から海へ、さまざまな動植物が二丈町の環境を作っています。

二丈町は、山と海に恵まれた町です。東西に延びる海岸線は約17キロメートルあり、この間に鉄道の駅が５つあります。また、南北の距離は、直線で約８キロメートル。北側は玄界灘で、南側は二丈岳をはじめ脊振山系に連なる山々があります。山林は、町の総面積の約57パーセントを占めており、山が海へ迫った地形となっています。

このような地形が、町に豊かな自然や美しい景観をもたらしています。手軽なハイキングコースとして知られる十坊山に登ってみましょう。山頂からの展望は素晴らしく、糸島平野や唐津平野を見渡すことができます。姫島を見下ろし、そのはるか彼方には長崎県の壱岐の島影などを見ることができます。同時に、山と海に恵まれた二丈町の地形を実感できるはずです。

山は雨水をたっぷり吸い込み、地中で長い時間をかけてろ過し、清らかな水を地上に湧出させます。町内を流れる主な川は13。それらは二丈岳、女岳、浮嶽、十坊山を主な源として、玄界灘へ流れています。川幅は広くはありませんが、たくさんの生物を育み、また、かんがい用水として農業に欠かせない大切な役割を果たしています。

海岸線が長く、外海に面している二丈町では、海の貝を豊富に見つけることができます。貝は、海や川にしかいないと思っていませんか。実は、貝の仲間は、陸地にも多く生息しています。海岸の防風林の落ち葉の下や神社の古い木々などをよく見てみましょう。珍しい貝が見つかるかもしれません。

トンボの仲間は、主なもので町内に20種類います。チョウの仲間は33種類が確認されています。福岡県で絶滅が心配されている動植物が、二丈町で見つかることもあります。羅漢川や一貴山川、堂ノ前川の河口近くに群生するアオイ科の植物ハマボウもその１つです。

自然を楽しみながら学んでいくと、大切に保全する心が生まれます。それまで知らないうちに自然を傷つけていたことに気づくかもしれません。自然はたくさんのことを教えてくれます。ふるさとに寄せる思いもきっと強まっていくはずです。

山や海の自然を調べるときは、遠くから見たり近寄ったり、中へ入ったりしながら、いろいろな視点から観察しましょう。また、自然を時間の流れの中でとらえたり、人とのかかわりを考えることも、自然を知るうえで大切なことです。

ミジンヤマタニシ
福井田地原
殻経1.5mm

ヤマタニシ（幼貝）
大崎鼻
殻高4.5mm

ヒダリマキゴマガイ
浮嶽
殻高2.6mm

シーボルトコギセル
久安寺浮嶽神社
殻高約18mm

ツクシマイマイ
田中
殻経35mm

カサキビ
配崎
殻高3.5mm

ツノイロヒメベッコウ
唐原南方
殻高4.0mm

タカハシベッコウ類似種Ⅰ
浮嶽
殻経5.9mm

❸ トノサマガエル

❷ オオマドホタル

❶ オオウラギンスジヒョウモン

❻ ハマオモト

❺ ハマサジ

❹ ブチサンショウウオ

❽ エビネ

❼ ギンラン

二丈町の動植物
　珍しいものを中心に集めました。中には絶滅が心配されるものもあります。みんなで守っていきましょう。